ピザを作ったよ

五年　石倉聖海

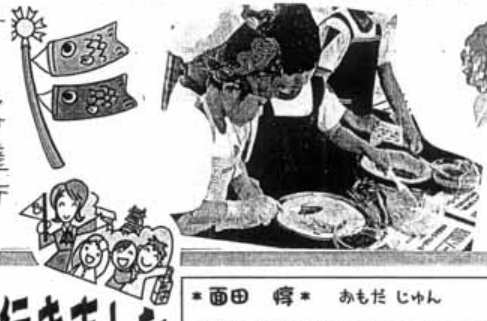
道の駅でピザを焼きました。自分達で作ったピザは、とてもおいしかったです。大きさは手のひら三つ分くらいで、三人で食べても足りました。トマトソース、カレーソース、和風ソースをつけました。みんなで全部つけるよう決めて、三つのソースをつけました。ソースの上に玉ねぎと肉、ゆでたまご、チーズ、粉チーズ、人参などいろいろのせました。焼いて切るときは、ザクザクと音がしました。どんな味かなと思いました。あおと君と千種先生とぼくとで一緒に食べました。千種先生が一、二枚食べて、あおと君が二、三枚食べて、ぼくは三、四枚食べました。三人で食べたら、理想とはちがったけれど、とてもおいしかったです。本当はちょっとこげがほしかったけれど、おいしかったです。

遠足

伸村進之介

5月9日水曜日に遠足がありました。ヤギ牛

日原きゅりでは、ヤギにミルクをあげたあと、ヤギの小屋にもどしてあげました。ヤギはとてもあたたかったがわいかったです。ヤギのちちしぼりはすっしむずかしかったけれど楽しかったです。きゅりめき広日原では班にわかれてピザを作りました。みんなで話し合っていろいろなざいりをのせてやきました。おいしいピザができてよかったです。



修学旅行に行きました

＊金田瑠也＊　かねだ れんや

ぼくは、東大寺で鹿と遊んだり大仏のことについて勉強したりしました。まず、東大寺では大仏の鼻の穴の大きさに聞いている柱の穴をくぐりました。でも、ここを通る人もたくさんいたので、並ぶと気が進くなり「並ぶのに疲れてしまうなあ。」と思いました。彩人君は、ガイドさんに積極的に「大仏は何で燃えたんですか？」とか「あのもう一つの大きな像は何ですか？」などいろいろな質問をしていて、ぼくも積極的に質問できたらいいなと思いました。また、大仏の頭は全身の半分くらいあることや東大寺の屋根の上にあるのは『鴟尾（しび）』という魚の尾を模したものがあることが分かりました。初めて知ったことがたくさんあっていい勉強になりました。その後は鹿に鹿せんべいをあげて、鹿と遊びました。せんべいを持った途端に鹿がぞろぞろやってきたので、ちょっとこわかったです。鹿をなでていたら少しずつ慣れてきて、かわいく感じられるようになりました。ここでは、彩人君が、鹿をあやつっているみたいで、さすがに動物には慣れているなと思いました。

＊面田　脩＊　おもだ じゅん

奈良公園の東大寺南大門の前で、鹿に鹿せんべいをあげました。鹿せんべいは、米ぬかで作られているので、人が口に入れても大丈夫なせんべいでした。鹿は、鹿せんべいをぱくぱく食べていました。さわると、毛がさらさらしていました。角をさわろうと思ったけれど、怒って攻撃すると思ったのでやめました。鹿は役一千頭いるそうです。人の目で一頭ずつ数えているそうです。全体的にメスが多く、オスが三百頭くらいでメスが七百頭くらいです。本当に多いなと思いました。彩人君のせんべいがなくなった時、鹿が怒って彩人君を蹴っていました。大丈夫かなと思いました。自分がせんべいを一匹ずつあげている時、おそいかかってきてあわててしまいました。鹿がこわくなりました。もう鹿はこりごりだと思いました。

＊井竹　誠＊　いたけ まこと

清水寺、東大寺、金閣寺、二条城が生で見られたことがいに残っています。特に金閣寺は、金ぱくでおおわれた本堂を見るのが楽しみでした。また、ツターンカーメン展では人がたくさん並んでいて、その待ち時間が1時間を超えていたので、それほどめずらしいものなんだろうなと思いました。もう見ることがないだろうと思ったので、しっかり見て記憶しました。全部の解説を読むことはできなかったけれど、展示物を見ることはできました。見逃したものは1個もありません。最後のツタンカーメン王のミイラが入っていた棺（ひつぎ）は、とても大きかったです。ガイドさんが言われていた、何層にも重ねた棺の一番外側だということを思い出しました。

＊小谷明舞＊　こだに あきよし

彩人君と修君と牧師先生と一緒に　映画村の色々なところを回っている途中でお店屋さんに寄りました。お父さんにどんなおみやげを買おうかと思いながら、買い物をしました。何を買っていいか分からなかったから、彩人君に聞いたら「コップとかがいいんじゃない。」と言ってくれました。コップを探しましたが、見つかりませんでした。すると、いい物を見つけました。刀のペーパーナイフと十手のキーホルダーです。二つの内どちらかにしようと思い、十手に決めました。お父さん喜んでくれるかなあと思いました。初めて映画村に来たので、昔の建物がたくさん見ることができました。江戸時代の人達は、こんな家に住んでいたんだなあと発見があっておもしろかったです。また、友達と一緒に買い物をすることができました。家に帰る時に、また行きたいなと思いました。

＊池田彩人＊　いけだ あやと

ぼくは、鹿に蹴られました。棒の中で、鹿せんべいをあげていました。周りには鹿が数十匹と修君がいました。ぼくは色々な鹿にせんべいを1枚1枚あげていました。最後の1枚をあげて、終わったと思ったら、鹿が「もっとくれ、もっとくれ。」とせまってきました。ぼくは両手を広げて「もうないよ。」と言いました。すると、鹿が怒って「もっとくれよ！」と言うかのように、前足でぼくをパシッと蹴ってきました。一瞬背筋がブルブルふるえました。一見かわいい鹿がいきなり蹴ってきたので、こわかったです。「おれ、何もしてないのに…。」と心の中で悪い気持ちでした。その後は何もされなかったのでよかったです。5人で1枚のせんべいをあげました。それを鹿がバリバリ食べているのを見て、おいしそうだなと思いました。だから、ちょっとだけ食べてみましたが、あまりおいしくなかったです。ガイドさんが言われるには、米ぬかからできているそうで、びっくりしました。鹿はこんなのが好きなんだなと知りました。今度行く時は、お父さんと一緒に行って、たくさんせんべいを買って鹿にあげたいです。